



左から大塚さん、小林さん、平澤さん、秋山さん

女性活躍推進法が施行されるなど、女性を含めた働き方が見直されています。

今回は、前回に引き続き、女性の活躍やワーク・ライフ・バランスなどに取り組む、医療法人昨雲会有隣病院の平澤美帆さん、小林利香さん、大塚佳子さん、秋山大樹さんに話を聴きました。

医療法人昨雲会 有隣病院(医療)

従業員数 222人(男性46人 女性176人) 女性管理者数25人

昭和59年2月に開設され、今年で33年目を迎える。診療科目は内科を始め全部で16の診療科目に対応している。よりよい医療を受けられるよう知識、技術の習得と研さんに努め、会津北部における医療の中心を目指すとともに、常に地域の人々の「隣に有る」病院づくりを目指している。

仕事の内容は何ですか

平澤さん 病棟勤務で看護師として看護業務をしています。

小林さん 同じく病棟勤務で看護師として看護業務を行っています。

大塚さん 外来全般に対応するケアワーカーとして、患者様の相談業務や案内などと看護師のサポートを担っています。

秋山さん 総務課に所属し、患者様の対応から病院全体に関わることで、幅広い業務を担当し、病院の円滑な運営に努めています。

このお仕事を指した理由は

平澤さん 小さい頃から看護師になりたいと思っていました。別の病院で働いていましたが、夫が有隣病院で働いていたのがきっかけで、私も同じ病院で働き始めました。

小林さん 幼稚園から看護師になりたいと考えていました。最初は飯塚病院で働いていましたが、急性期の勉強もできるのが、有隣病院に異動しさまざまな分野を学んでいます。

大塚さん 曾祖母が家族の手を借りながらも幸せそうに生活している姿を見て自分も人が笑顔になれる職に就きたいと介護の道へ進みました。

秋山さん 病院に野球部があり、企業チームとして野球を続けながら仕事ができることに魅力を感じたことから、病院に入りたいと考えました。

仕事をする上で大変なことや働き方で工夫していることは

平澤さん 夫婦で同じ病院に勤務しているので、夜勤などが重ならないようにしなければなりません。部署同士で調整してくれるのでとても助かります。

小林さん 3交代制は体力的には大変ですが、ジムに通ったりしてリフレッシュしています。おいしい食べ物やお酒を飲むことも大好きです。特に喜多方の朝ラーは元気の源です。

大塚さん 小さい子どもがおり、突発的に休みを取らなければいけない時は、同僚の協力を得ながら業務を回しています。

秋山さん 子どもが4人いますが、妻も同じ職場で働いているので、家事については夫婦で協力しています。子どもが病気の時は交代で休みを取ります。

女性活躍やワーク・ライフ・バランスなど職場の特徴や取り組みはありますか

平澤さん 看護師は楽しく、

大好きな仕事です。また、勉強や研修にも行ける環境です。研修で学んだことを踏まえ、がん緩和ケアチームの設立に向けた準備を進めるなど、研修の成果を発揮できる職場です。

小林さん 看護師の業務は大変ですが、感謝の言葉をかけてもらうなどやりがいのある仕事です。また、就職してから正看護師の養成学校に通わせてもらったり、昨雲会の看護部ではバックアップ体制があり、充実して仕事をしています。

大塚さん 中規模病院であるので、多職種の顔が見えて、誰とでも相談しやすい環境が魅力です。多くの診療科の中、有資格者の皆さんと共に経験を積み成長させてもらっています。

秋山さん 働きやすい職場です。興味があれば見学大歓迎です。奨学金制度も充実しているので、ステップ・アップを考えている方には最適な職場です。大好きな野球も続けています。

医療法人昨雲会有隣病院の取材内容は市ホームページにも掲載しています。

問 企画調整課 企画調整係
☎(24)5209